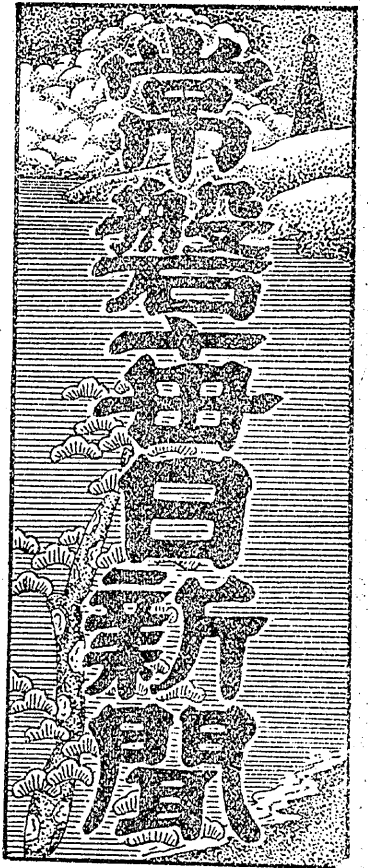


【刊夕】日二月五



原五稅郵錢十五月一 錢貳金部一價
 錢十五行一語字三十號五 料告廣
 治文崎川 入刷印人輯編發行發
 五三町橋長町平郡城石縣島福
 番〇三六話電 社聞新日每警常 所行發
 社會式株刷印日每警常 所刷印

花祭りと釋尊傳

桐原英純

(十四)

△佛滅の年時
 今日でこそ佛教は地球上に概算四億の信者を有するといわれその地域も印度支那、朝鮮、日本から遠く歐米各國にまでも擴大するの勢ひを示してゐますが、釋尊が身を粉にして化導に當られたつゝあつた佛在世の時代にあつてはその廣袤は中印度を出でず、釋尊は故國迦毘羅衛城を後にして北舍衛城と南王舍城の間を主として往復化導せられてゐたのでありました、既にして五十年の生涯もいつしかに過ぎ去りました、釋尊御入滅の年時は八十才説と八十才説とがあります、南方佛教は八十才説を採つてゐます、南方佛教と云ふのは佛滅後久しからぬ内にセイロン島の方に渡つた巴利佛典に基く教へを申します、釋尊はその巴利語で説法せられた、その當時の土語であつて日本の言文一致に當りません、その南方佛教は他の文化や變亂の影響に禍ひ

せらるゝこと少なく昔のまゝの生一本で傳へられて來てゐるために原始佛教を窺ふに有力であり、比較的史實として信憑するに足るとせられてゐます、それに對する梵語とは、日本ではへば雅語を主とする文章体であつて文飾も多く外來文化の影響もヨリ多く受けたであらうと思はれ、それが支那に渡つて漢譯せられたものは一層文學的藝術的なものになつて行つたのであらうことは察することが出來ます
 さて釋尊は八十才の夏安居を卒へても秋も深い頃吠舍離城下を托鉢して、城外の小山に登り過ぎ來し方を俯瞰しつゝ常隨の阿難に向ひ「却後三月將に涅槃に入るべし」と豫言せられた、果たしてそれより三ヶ月後の二月十五日に入滅せられたのでありますから八十一才御入滅説が成立する所以であります
 △佛涅槃の光景
 釋尊はこの豫言を發せられる前から甚しき背痛を病んでゐられた、背髓の故障が之の持病であつた様にも思はれます、之の時の釋尊の旅は舍衛城を發して王舍城に向はれる途中であつたのであります、旅程を變更し進路を北に逆戻りして拘尸那城に入り、こゝで金工博陀の供養を受けられた之の食あたりで病は急に重くなつたことでありませうが、前々からの背痛を中絶とがカチ合つたと云ふことは矢張り佛も因縁の道を歩まれたものと存じます、赤い血潮の便通が通つたとありますから、今日でいへば赤痢の如き症候であつたものでせう、それより拘尸那城外西北の沙羅樹林に入り二本の沙羅といふ木の根と根とが網のやうになつてゐる間に席を設けしめて、頭北西面して臥床せられました、それから一日一夜の最後の説法が始まるこれが有名な涅槃經であります

三井の券品商

店服吳井三

貸切は!

親しみあるサービス
 を以つて知られたる

尼子タクシーへ

電話六四〇番

主任 澤 正路



本場新茶走賣初メ申候 一斤 二圓

移轉致しました

リヨ日一月五
 めたの張擴舗店
 (跡館旅住福元)り通大町田町平

ハシモトヤ糸店

各位

謹啓 新緑清楚の候各位愈々御健勝の段奉賀上候
 偕て私儀來る五月五日より平町田町へ産科婦人科専門醫院を開業いたすことに相成候間今後共何分の御後援を賜り度此段御挨拶傍々御願申上候 敬白

井坂久吉

平町田町(舊合津醫院跡)電五五九



六三四電通場車停百丁四町平

國産セイコー腕時計

抽籤 附特賣!

クローム側腕時計八圓半ヨリ

金側全十七圓半ヨリ

一等 16形プラチナ側腕時計 市價 百十圓

二等 16形十八金側時計 六十二圓

三等 OS製扇風機 同 二十六圓

四等 OS月光裏鏡目覺同五圓

五等 OS硝子置足付同二圓

特賣期間 六年五月卅一日迄

其の他貴金屬、時計新値下品澤山 修繕値下 勉強を生命と致します

鐵道省御用 金光堂時計店

隣に貸し家あります 平五 電話一九五

玉川村長案の米専賣制度

俄然輿論を喚起す

正式提案要求の聲高し

二十八、九兩日喜多方町に開かれた縣下町村長會の席上で石城郡玉川村長駒木根忠造氏の

發表した米準專賣制度案は農村窮迫せる時節極是を救済する理想的の根本良策であると共に絶對的に實施を農林省に要求すべき重要問題であるとして、輿論を喚起した、同村長の持論は自村農民の廢農的窮境から

研究を

進められたもので、その主張する處は現在の米價が實際生産價より暴落せる相場を出現する如きは農村自滅の最大原因で國家は一時的の買上等の調節に依らず積極的に標準公定相場を樹て米賣買の

合理化と農民保護を

實施すべしと云ふにあつて同村長は非公式に發表した處から、同問題の決裁的効果は次回の大會に俟つ事となつた、右につき三十日歸村した同村長は語る「自分の意見は大部分町村長の拍手をかひ思はぬセンセイシヨンを捲き起した

非公式

だつたので正式提案を要求せよとの聲が多かつたが石城郡支會が問

を確定する筈だが何れにしても問題は地方官會議後知事の歸廳をまつて急轉する模様である

何れか一港に縣で決定す

四倉、松川の

兩漁港修築

題が大き過ぎると逡巡したので次回に根強い輿論として喚起する事として引揚げた譯である

硬軟

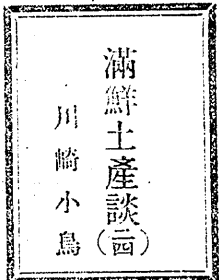
兩用の意見

小名濱修築に

寄附拒絶問題

既報、小名濱修築に關する淺野家の百萬圓寄附拒絶問題は一度本紙によつて發表された以上速かにこれが解決の要ありとの意見が有力となり上京中の川崎知事は小柳前知事から真相を聴取する一方土木局の首脳部とも意見を交換してゐるが各關係者の善後措置に對する意見は目下の處硬軟兩論に分れ一部にはこの際淺野側に寄附の意思がない以上は契約に基き契約履行請求の民事訴訟を提起すべしと主張しまた一部には訴訟は最後のなものでそれよりも適當な實業界の有力者に調停を依頼し妥協的に淺野家の許す限りの範圍で寄付させ

る方が得策であると主張する意見もあり後者の意見は小柳前知事等が主張してゐる以上の如き情勢に對し川崎知事は滞京中に對策方針



滿鮮土産談(四) 川崎小島

女鈴木英子(三二) 茨城縣水戸市 上市元白銀町五〇 齊藤正勝(二七)

支那料理は、世界一だと前述したが、異境で食べると日本料理も、趣きが深く故國の味が戀しい。大連を出發して、愈よ長途の講演行脚に出る前夜、滿鐵社會施設係主任の上林哲彌氏に「大和ホテル」に招かれた。

此の「大和ホテル」は、大連大廣場に面する近世ルネッサン式四階建、實に壯麗な建築で、五年の歳月を要してしん工を見たといふ三百人を容るゝ大食堂がある。

僕は、折悪しく、腹を壊して、流動物に依り、飢をしのいで居た時だつた、「それぢやあ、洋食よりも日本式の精進料理にしませう」との事で、上村氏の一行と共に「大和ホテル」から自動車を飛ばして、最近開業したといふ精進料理屋「雲水」に赴いた。

見ると、門の兩側には大きな仁王像が、力んで居る、それをくぐつた入口には、四角な木板が釣つてあり、木槌で叩いて案内を乞ふ、中から出て来たのは、年頃十二三歳の少年、頭を丸く剃つて、黒染の衣を着て居る、精進料理だけに凝つたものだ。

案内されて室に通れば仲居は丸鬚だが、用事のある時は、床の間の木魚を叩けといふ、向島の「雲水」も、矢張り「凝り方」に於ては同様なさうだが、僕は未だ向島の「雲水」に行つた事がないので、此の大連の「雲水」が、滿州に於ける存在だけに、反つて稀らしく感じた。

通される料理は、云ふ迄もない野菜づくめ、夫れにどれもこれも皆案かなのが嬉しく、命定めと決心して、大いに食べた、勿論美味!

話頭たま／＼滿蒙問題に及べば、上村氏が「それには、情報部の人を呼ぶから、是非真相を詳細に聞いて貰ひ度い」との事、待つ事や、暫し、「風呂へ這入つて一ツ杯やらうと思つて居た處へ、電話なものでから、イヤ驚いて飛んで来た」

取り交はした名刺には「八木丈夫」氏、痛快な人らしい、偶然にも此人が福島縣安達郡出身、然も、だん／＼聞けば、湯本から磐城中等學校へ、二年間、徒歩で通つたといふ、植竹校長から西村校長に變る頃だつたさうだ。

長橋町といひば、思ひ出すのは柿の木だ、よく通學の途中、アノ柿をねらつたものだが……、何んでも國道から細い道に曲つた處だつた、今はあの邊はどうなつて居ます」といふ、どうも夫れは僕の家の畑にあへ柿の木らしい。

今日の話

山形縣最上郡地方の人跡まれな、池沼、川には川魚にまじり昔からいもりが多數棲息し土人の嫌はれものとなつてゐるが、弗の國アメリカではわが國の金魚の如く家庭でいもりが愛玩され千葉縣からは年々少からず輸出されると知つた最上郡農會では飛んだ金儲けを發見したとあて養魚組合の事業として保護繁殖せしめ第一回分として来る十月一千尾をおくり注文によつてはいくらでも需要に應ずるといふのであるが、一般から一尾三錢で買ひ取りアメリカへは約十錢位で賣れるものとホク／＼してゐるが、米人がいもりを愛玩するのは雌雄が盛んに性的行爲を演ずるのが嗜好に適するとあるからふるつてゐる。

斯ふした譯で二人は有頂天になつて喜び合つた、話しは益々はずむ、お陰で支那の裏面史や、排日の陰謀、平行線の問題から、白川大將と張作霖の密約、夫れに例の滿州某重大事件迄内地では一寸聞けぬ話しを殘らず悉く、然も詳細に聞く事が出来たのは、大きな獲物だつた。

外科

専門線 X

上田外科醫院

平町南町 電話一二九番

電話開通

五〇三番

松乃家

安兵衛 ぼんた 小仙 小櫻 勇

色とりどりに

咲き初めた

二千八百株の麗さ

眞に東北第一

種二千八百株があり東北第一と稱されてゐる

電柱から

墜落重傷

二本松の工夫

石城郡江名町大字下神白字三崎地内で去る三十日午後二時頃電柱の立替作業中であつた二本松電氣會社電工新瀉縣北魚澤郡堀ノ内町新田生れ酒井嘉市(三)は電柱から墜落し腰部胸骨等を打ち直ちに小名濱町中村醫院に收容したがかなりの重傷である

ツジに雪洞の美観

鯛の大群に出合ひ

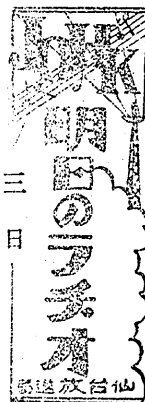
海上デモは中止

極めて平穩無事

賭博二件

平と豊間で

常磐各炭坑におけるメーデーは大衆黨常磐支部で僅かに宣傳ビラを撒布しただけに止まり極めて平穩であつた、なほ海上においても社民黨磐城支部では漁船四艘を借り入れ茨城縣平潟港と四倉港間において海上デモを行ふ計劃であつたが途中で鯛の大群に出遭つたためデモよりこの方が大切と俄に計劃を変更したため海方においても結局平穩であつた



今晩は南西の風雨あるも明日は天候良さ見込み

今晩の部

後六、〇〇(子供の時間) (木琴) 朝吹英一(マンドリン) 吉井俊二(ギター) 小林行二 後六、三〇 英語講座「中等科」(第二講の三) 久野朝郎 後七、〇〇 全国ニュース (官廳ニュースを含む) 河北新報社ニュース 氣象通報 告知事項 後七、二五 講演「スベインの昨今(其の一) 萬里野平八

椎茸栽培の成績頗る良し

成績頗る良し

石城郡農會では數年前から椎茸栽培の奨励を農實副業の資として來たがその成績良好で中には枡木に手の付け所もなき程に椎茸の密生せるもあるといふ状況で柴田技手は四月下旬郡内平窪村外數ヶ村に出張昨秋伐採して置いた枡木に胞子時付を指導しつつあるが成績頗る良好である

車体検査追つて

修繕工が大繁昌

石城地方における定期自動車検査は平窪管内の十日から一週間同町八幡小路 警中グラウンドに行ふを初めとして次いで植田、四倉管内の検査を執行することは既報の如く前例によりポロ自動車の多

明日の部

後八、〇〇 ラヂオレピロ「五月の歴史から」 後八、五〇 ラヂオドラマ「晩年のジャンゲアルシヤン」東京ラヂオグループ 後九、四〇 時報 全国ニュース 氣象通報 番組預告 告知事項

小川江管理者 警城

小川江筋普通水利組合管理 者伊藤事務官が南會津支廳長に轉任したので後任管理 者には地方課長事務官小林 千秋氏が指定された

平商の遠足

新舞子と四倉

平商業學校では一日午前八時から石城郡草野村新舞子及び四倉方面へ春季遠足を 行つた

赤井坑山神祭

郡赤井坑福島炭礦では五六 兩日恒例の山神祭を行ふが 當日は全山休業して種々の 餘興を行ふ由

藤沼醫院

平町紺屋町 電話五〇七番

移轉開店御披露

今般(錦水隣)へ移轉致し候に付従前通り御眞下され度御願ひ申し上げ候

かば焼

平町田町(錦水隣)

出前迅速 魚 榮 電話四二四番

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します 往診 呼吸器病ばかりではありません 平町南町六五

川井内科診療所

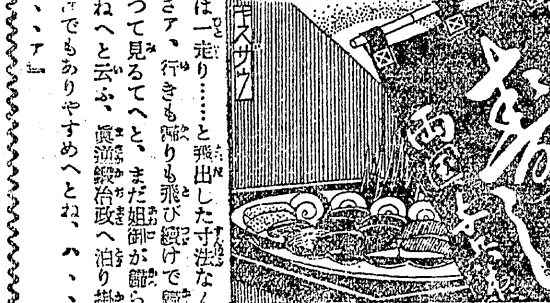
醫學士 川井重之 女醫 川井安子 電話一八一番



おぼろ

東京 橋場鮎刺 (米田安藏)

お千代は無言で是れとした事... 橋場鮎刺は、お千代を捕まえた...



「オヤアア大變な御馳走だね...」 お千代も思ひ掛けた...

免許状授與

池坊 龍生派 今般石城郡平町六丁目華道教授正木旭松門弟常...

Table listing names of individuals and their respective titles or affiliations, such as 植田平, 佐藤キ, etc.

看護婦急派

の求めに應じます 平町南町 看護婦會 電話三〇七番

度量衡、計量器、吸入器

用酸素、酸素吸入器 關内藥局 電話四〇番

外科 X光線科 性病科

安齊外科醫院 平町田町 電話四七五番

一冊の代金で 五冊の雑誌が 自由に読める

川崎巡文庫 電話六三〇番

印刷物の御用命は總て 常磐日刷印刷株式會社 電話三六〇番

郵便受函の設置に就いて

郵便受函をお取付け下さい、朝早くから、夜に入つても配達する郵便物を確實に、迅速に、お受取下さる為めに!

時代の要求

貴重なる郵便物の爲に 宣傳 配達能率増進の爲に

郵便受函

- List of postal services and prices: 呼鈴付定價 金貳圓五拾錢, 呼鈴無定價 金壹圓五拾錢, etc.

釜屋商店

諸橋久太郎 電話九番 九九番 振替貯金口座東京二九三番